

アルジェリア政治・経済月例報告
(2017年4月)

平成29年6月
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 3日、テブン住宅・都市計画大臣兼商業大臣代行は、アルジェにおける900戸以上の住宅引渡し式に出席し、4月第1週から6月末までに全国にて4万戸が供給されるどころ、4月末までに7千戸が供給されると公表。
- 9日、国民議会選挙の選挙運動期間はじまるも一般国民の関心は低調。
- 27日、セラル首相、タマンラセット県視察。
- 29日、ブーテフリカ大統領、5月4日の国民議会選挙に関し、国民の投票による参加は民主化推進と国の安定に寄与するとの声明を発表。

2 外交

- 5日から6日、カズヌーヴ仏首相が来訪し、セラル首相と会談。両首脳の前にてエネルギー、持続可能エネルギー、食料産業、職業訓練及び高等教育等に関する合意に署名された（中・低電圧発電ユニット及び制御システム保護デポジット設立に関するE L E CアルジェリアとSchneider Electricとの合意、電気バス事業達成のための産業自動車公社、トラム組立・保守工場（SETAL）及びALSTUM3者の能力統一合意、財務省・フランス開発庁間のエネルギー分野強化・研究基金への150万ユーロ再融資のための合意、持続可能エネルギー開発センターと仏の原子力・代替エネルギー代表部間の恒常的な協力進展を醸成するためのイニシャル署名等）。
- 9日、セラル首相らはモゲリーニEU外務安全保障政策上級代表兼欧州委員会副委員長とアルジェにて会談し、3月13日、ブリュッセルにて開催された第10回政策対話・戦略的パートナーシップ・欧州対話政策促進のためのパートナーシップ委員会による勧告、及び2020年を視野にしたパートナーシップの優先事項等について協議し、両者は第8回エネルギー戦略に係るハイレベル対話会合を受け協力関係を強化することで一致した。
- 24日、ラマムラ外務・国際協力大臣は、来訪した申紅哲（Sin Hong Chol）北朝鮮外務次官と会談。

3 治安

- 4日、ジジェル県において、軍はテロ対策の一環でテロ組織支援者4人を逮

捕した。

● 10日、スキクダ県ウェッド・ゼフル地区において、軍は潜伏場所の攻撃によりテロリスト1人（G. ファード、別称：サラ、2002年に爆発物製造担当としてテロ組織に加入）及びその家族（妻、娘3人、息子2人）を逮捕するとともに、カラシニコフ小機関銃1丁及び弾薬多数を押収した。

● 10日頃、シディ・ベラベス県メリン地区において、治安機関はテロリスト1人を逮捕するとともに、同県南部で活動していた8人のテロ支援者を逮捕した。

● 19日、コンスタンティーヌ県エル・ハリア地区において、軍は以前から捜索していたテロリスト1人（M. ユセフ、別称：ズベイル）を殺害（自爆ベルトにより自爆）し、1人（ハルファウイ）を逮捕した。同人らはバイクで移動中、情報を得た警察機動隊の検問に掛かったもので、コンスタンティーヌ地区中心部における自爆テロを企図していた模様。逮捕者の供述に基づき、大量の武器・弾薬類を押収した。同人らは3月に軍により殺害されたISILアルジェリアの東部地域指導者ヌレディーン・ラウイラの指揮下にある疑いがある。

● 26日頃、コンスタンティーヌ県及び隣接県において、治安機関はテロ支援組織のメンバー20人を逮捕し、同県ウアーシュ山岳及びアイン・ナハスで潜伏場所3か所を破壊するとともに、自爆ベルト3本、カラシニコフ銃、猟銃、拳銃（ベレッタ）を押収した。押収された武器類は、コンスタンティーヌ県などの中心部の公共施設を狙ったテロに使用される予定だった。

● 28日、イリジ県ジャネット地区において、軍はテロ対策の一環で待ち伏せを仕掛け、テロリスト3人の国境からの侵入を阻止（拘束）し、カラシニコフ小機関銃1丁、弾筒2個、多数の弾薬及び食料を押収した。

● 29日朝、バトナ県ティラトゥ地区メトリリ山岳において、軍はテロ対策の一環で情報に基づいて掃討作戦を行い、テロリスト4人（B. ジャメル、S. ハージ、Ch. トゥフィーク及びK. ユネス。ISILに連帯を表明）を殺害するとともにカラシニコフ小機関銃4丁と弾薬多数を押収した。

● 30日、コンスタンティーヌ県において、治安機関はグラバー旅団に情報提供等の支援をしていたとして、司法当局に出頭した32人を逮捕した。

4 経済

● 当地のスマートフォン市場の15%を占めている華為社(Huawei)は、3日、アルジェのシェラトンホテルにて、同社のニューモデルであるGR3とGR5のプレゼンテーションを行った。同プレゼンテーションを行ったデニス地域担当は、現在同社がアルジェリアでスマートフォンの組立工場建設を検討しているとしつつ、既にプロジェクト案を関係省庁に提出済であると述べた。

●7日、クアンタム・グローバル・リサーチラボは、2016年版のアフリカ投資指数を発表した。同レポートは、アフリカ54各国を対象に信用格付けの工場、経営収支比率、輸入カバー、ビジネスの容易さ等と指標化し、各国を格付けしたもの。同レポートによると、1位ボツワナ、2位モロッコ、3位エジプト、4位南アフリカ、5位ザンビア、6位コートジボワール、7位アルジェリア、8位タンザニア、9位ナミビア、10位ブルキナファソとなった。

●11日、アルジェリア財務省は、同省ホームページにて2030年までの新経済成長モデルを公布した。同政策では、2030年までに、(ア)1人当たりGDPは2.3倍へ、(イ)バランスの取れた産業構造の実現(製造部門がGDPに占める割合を2015年の5.3%から2030年までにGDPの10%までに向上)、(ウ)農業生産の増加、(エ)エネルギーの国内消費の増加率を半減(2030年までに年間3%増に留める)、(オ)非炭化水素の輸出増加を目標としている。

●昨年末にシンクタンクのカーネギー中東センターが発表したレポートによると、北アフリカのリーダーの座を争って、アルジェリアとモロッコが中東北アフリカ版のいわゆる「冷戦」状態にあることが示唆されている。主要な指標は以下のとおり。

指標	モロッコ	アルジェリア
成長率(2017年)	4,4%	2,9%
インフレ率	1,6%	6,4%
失業率	9,6%	10,5%
貧困率	4,2%(2014年)	5,5%(2011年)
海外直接投資	32億ドル	15億ドル
防衛予算	35億ドル	104億6,000万ドル

●国営海上旅行者輸送社(ENTMV、通称 Algérie Ferries)は、2016年9月からの国際入札後、カーフェリー(価額1億7500万ドル。定員1,800名、車両600台収容)1隻の26か月間での建設に関し、中国企業グループ(Chantier Guangzhou Shipyard International 及び China Shipbuilding Trading Company)に契約を与えた。当該船舶は2019年に引き渡され、大巡礼(ハッジ)に行く者の輸送に当てられる予定。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
4月3日	キプロス	メデルシ憲法評議会議長	第5回民主主義国際フォーラムに出席
4月6日	米国	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	第4回治安・テロ対策二国間対話に出席
4月6日	米国	ウルドゥ・ケリファ国民議会議長	第一次世界大戦一〇〇周年記念セレモニーに出席
4月11日	ベルギー	ブーテルファ・エネルギー大臣	第2回ベルギー・アルジェリア・エネルギー戦略対話に出席
4月19日	リビア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	ハフタル元帥(於ベンガジ), シラージュ首相他と会談
4月19日	ドイツ	ハメル警察庁長官	ロマン警察庁長官と対談
4月22日 ～23日	米国	ババ・アミ財務大臣	アブドルカーフィ・チュニジア開発投資国際協力大臣, 国際通貨基金・世界銀行と会談

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
4月4日	チャド	ユヌスミ・インフラ開発大臣	セラル首相と会談
4月5日 ～6日	フランス	カズヌーヴ首相	セラル首相と会談 同首相, 3度目の来訪
4月8日 ～9日	EU	モゲリーニEU外務安全保障政策上級代表	セラル首相, ラマムラ外務・国際協力大

			臣, メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談
4月8日	イギリス	パームリー・シティ・オブ・ロンドン市長	セラル首相, ブーテルファ・エネルギー大臣, ブシュアレブ産業・鉱業大臣と会談
4月12日	米国	モアハウス下院国防委員会委員長補佐官	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談
4月12日 ～13日	エチオピア	ゲベユ外務大臣	ラマムラ外務・国際協力大臣と第4回合同委員会を主宰
4月16日	アゼルバイジャン	マメドフ法務大臣	セラル首相, ルー法務・国璽大臣と会談
4月18日	ロシア	ヴェネディクトフ国家安全委員会委員長	第2回ロシア・アルジェリア治安・テロ対策協議(当国議長メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣)
4月22日	米国	ムラニー通商部中東・ヨーロッパ担当補佐官	ブシュアレブ産業・鉱業大臣と会談
4月23日	中国	韓長賦・農業部長	セラル首相, シェルグム農業・地方開発・漁業大臣と会談
4月24日	北朝鮮	申紅哲 外務次官	ラマムラ外務・国際協力大臣, シェルフィ・エネルギー省次官と会談
4月26日	ケニア	オマモ国防大臣	ガイト・サラ国防副大臣兼軍参謀総長と会談
4月26日	ベネズエラ	マルティネス石油・鉄鉱大臣	ブーテルファ・エネルギー大臣と会談

4月27日	ギリシャ	コジラス外務大臣	ベンサラ国民評議会議長、ララムラ外務・国際協力大臣と会談
-------	------	----------	------------------------------

(了)